

授業科目	旅行産業論				単位	2		
履修	選択	関連資格				ナンバリング	TO21410J	
開講年次	2・3・4年	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP4-1			
担当教員	友原 嘉彦							
授業概要	<p>本講では持続可能な観光という観点から日本における観光産業の質的向上をどのようにして行なっていけばよいか検討する。</p> <p>*本講では学術用語として定着している「観光」を専ら用いる。ゲストとしても主に観光者を念頭に置くが、科目名との兼ね合いもあり、出張者や留学生なども包括することを殊更明記しておく。</p>							
学生が達成すべき行動目標	日本の観光産業における課題を直視でき、より良くしていくにはどうしたらよいかを考えることができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	80	0	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			80				80	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)						20	20	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
日本の観光産業についての課題をしっかりと直視でき、解決に向けて十分に考えることができる。				日本の観光産業についての課題を直視でき、解決に向けて考えることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	・ガイダンス ・観光産業の重要性			講義		復習		80

2	・観光メディアの評価 1	講義	復習	80
3	・観光メディアの評価 2	講義	復習	80
4	・観光ターゲット 1	講義	復習	80
5	・観光ターゲット 2	講義	復習	80
6	・質的観光への転換 1	講義	復習	80
7	・質的観光への転換 2	講義	復習	80
8	・観光資源としての自然 1	講義	復習	80
9	・観光資源としての自然 2	講義	復習	80
10	・観光産業のホスピタリティー1	講義	復習	80
11	・観光産業のホスピタリティー2	講義	復習	80
12	・ホテル産業 1	講義	復習	80
13	・ホテル産業 2	講義	復習	80
14	・観光産業を支援できる国家行政組織 1	講義	復習	80
15	・観光産業を支援できる国家行政組織 2	講義	復習	80
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の観光経験の反芻はもちろん、さまざまなメディアを通して日頃より観光に触れておくこと。 ・観光の中でも特に観光関連企業や観光誘致体について触れ、考えておくこと。 			
テキスト	デービッド・アトキンソン(2017)『世界一訪れたい日本のつくりかた』東洋経済新報社			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・デービッド・アトキンソン(2015)『新・観光立国論』東洋経済新報社 ・電通 abic project 編(2009)『地域ブランドマネジメント』有斐閣 			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	日本における観光産業はかように旧来の課題が残存しています。観光産業についての研究を予定している方、観光業界への就職を考えている方は特に受講ください。			
達成度評価に関するコメント	本講は特に観光産業についての研究を予定している方や観光業界への就職を考えている方に対する一助となると考えます。			